

全自動散薬分包機仕様書

1 調達物品

全自動散薬分包機

2 数量

一式

3 性能、機能に関する要件

本調達物品に係る性能、機能及び技術の要件は、以下のとおりとする。

- (1) HIS（日本電気社製電子カルテ：MegaOakiS）から受信した処方情報を基に、当院で使用している上位システム（調剤支援システム）を利用し散薬分包作業を行えること。
- (2) 新規薬品登録の際は、上位システム（調剤支援システム）から薬品情報を自動で作成またはダウンロードができる機能であること。
- (3) 本体寸法は、W1050×D660×H1120mm 以内であること。
- (4) 分包機本体は、分包誤差の少ない R 円盤方式とし、1 枚の円盤で 1 回最大 93 包の分包が可能であること。また円盤は 2 枚装備すること。
- (5) 分包機本体には、錠剤半錠などの分包ができるよう手巻き用錠剤マスを 48 個搭載し、48 包以上の分包時は、複数回作動させる事により 93 包以上の分包が可能であること。
- (6) 手巻き用錠剤マスには、服用時点（朝・昼・夕）の区別が一目で判断できるように、6 色の LED 表示などを用いてより安全に配分できる機能を有すること。
- (7) 散薬の配分では均等に配分するため、フィーダー部分にコントロールプロジェクション（突起）を組み合わせることにより、混入のリスクを軽減すること。
- (8) 散薬の配分スピードは自動・手動の切換が選択でき、自動の場合は、散薬の量、特質を考慮したスピードを自動調整できること。
- (9) フィーダー部分は、取り外しができ、容易に掃除ができること。
- (10) 分包機操作パネルは、粉塵の影響を受けないタッチパネル方式であること。
- (11) 分包機操作者の安全を考慮し、分包機動作中に上部カバー・前面カバー等を開けた場合は、自動で分包動作を停止しワーニングを出す機能を有すること。
- (12) 分包機本体は、タブレット PC（コンパクト PC）で制御可能であること。
- (13) 処方箋、散薬の秤量したレシートをバーコードリーダーに読み込ませる事で、処方情報を展開させ、分包総数等を自動でタブレット PC に取り込めるとこ。
- (14) 分包紙には、患者名・用法・薬品名・服用開始日等の情報が印字可能であること。また印字内容については、当院担当職員と協議のうえ決定すること。

- (15) 分包紙への印字は、熱転写フィルムを利用し、リサイクルの観点から、リボンのみの交換が可能なリボン方式であること。
- (16) 消耗品の交換方法や簡単な掃除方法等は、タブレット PC (コンパクト PC) 上で動画再生が可能で、いつでも再生できること。
- (17) 分包紙のシール方式は、ヒーターローラー方式であること。

4 性能、機能以外に関する要件

- (1) 設置にあたり、当院が用意した一次側設備以外に必要な改修工事等があれば当院担当職員と協議の上で落札者において施行すること。
- (2) 本調達に伴う撤去、搬入、据付、配線、配管及び運転調整（オンライン接続等を含む）については、当院担当職員と事前協議の上で落札者において施行すること。
- (3) 機器の搬出・搬入のためのルート確保、養生等は落札者が実施すること。
- (4) 障害時において、復旧のための通報を受けてから、速やかに現場で対応できる体制であること。
- (5) 本機器の運用を円滑に実現するための技術的サポート体制が整備されていること。
- (6) 納入後1年間は、無償で保守作業を実施すること。
- (7) 取り扱い説明に関する導入時の教育訓練を当院担当職員に十分に行うこと。取り扱い説明、教育訓練の実施に関する日程調整や回数については、当院担当職員と協議し決定すること。
- (8) 導入機器の日本語版の取扱説明書を1部備えること。また、取扱説明書をPDFファイル形式化したものも提供すること。
- (9) 導入された機器の動作を判断するため、落札者が正常に動作することを示し、当院担当職員の承認を得た上で引き渡すこと。
- (10) その他定めのない事項については、当院担当職員と協議のうえ、その指示に従うものとする。